



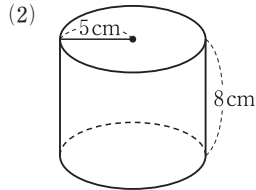
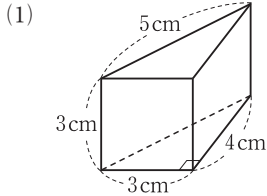
8 空間図形の計量①



39 柱体の体積・表面積

- ① 立体のすべての面の面積の和を**表面積**という。また、側面全体の面積を**側面積**、1つの底面の面積を**底面積**という。
- ② (柱体の体積) = (底面積) × (高さ), (柱体の表面積) = (側面積) + (底面積) × 2

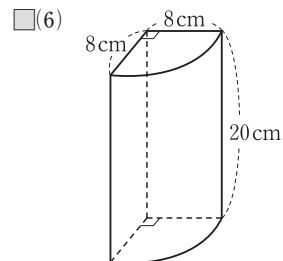
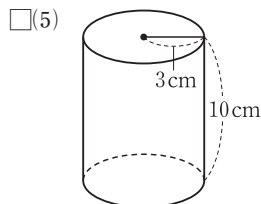
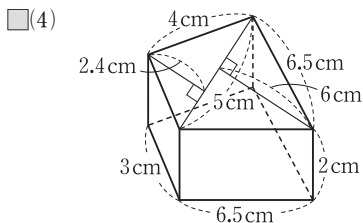
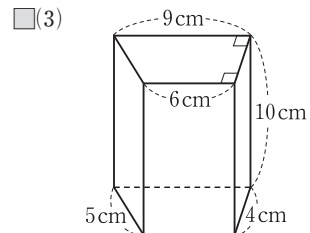
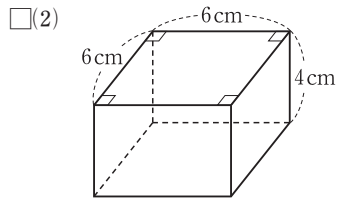
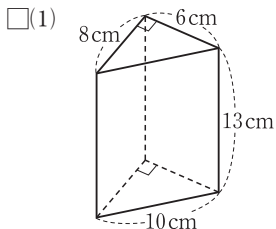
次の柱体の体積と表面積を求めよ。



解 底面積は、 $\frac{1}{2} \times 3 \times 4 = 6 \text{ (cm}^2\text{)}$ より、
 体積は、 $6 \times 3 = 18 \text{ (cm}^3\text{)}$
 側面積は、 $3 \times (3 + 4 + 5) = 36 \text{ (cm}^2\text{)}$ より、
 表面積は、 $36 + 6 \times 2 = 48 \text{ (cm}^2\text{)}$

解 底面積は、 $\pi \times 5^2 = 25\pi \text{ (cm}^2\text{)}$ より、
 体積は、 $25\pi \times 8 = 200\pi \text{ (cm}^3\text{)}$
 側面積は、 $8 \times (2\pi \times 5) = 80\pi \text{ (cm}^2\text{)}$ より、
 表面積は、 $80\pi + 25\pi \times 2 = 130\pi \text{ (cm}^2\text{)}$

157 次の柱体の体積と表面積を求めよ。



158 底面の半径が 4 cm の円柱がある。この円柱の側面積が表面積の半分であるとき、円柱の高さ □ を求めよ。

40 組み合わせさせた立体

右の図の立体の体積と表面積を求めよ。

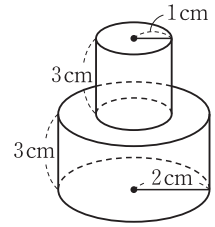
解 この立体は、2つの円柱が重なってできた立体である。

求める体積は、2つの円柱の体積の和に等しいから、

$$(\pi \times 1^2) \times 3 + (\pi \times 2^2) \times 3 = 15\pi \text{ (cm}^3\text{)}$$

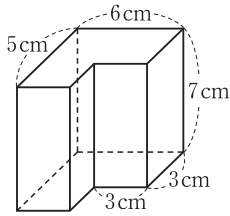
求める表面積は、小さい円柱の側面積と大きい円柱の表面積の和に等しいから、

$$3 \times (2\pi \times 1) + 3 \times (2\pi \times 2) + (\pi \times 2^2) \times 2 = 26\pi \text{ (cm}^2\text{)}$$

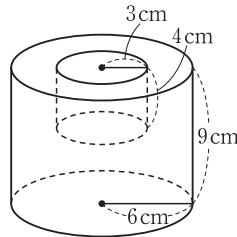


159 次の立体は、直方体、立方体、円柱が組み合わせさせた立体である。体積と表面積を求めよ。

□(1)

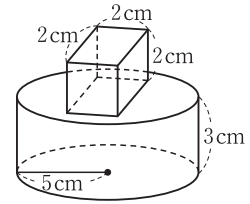


□(2)



(円柱から円柱をくり抜いた立体)

□(3)



41 角錐の体積・表面積

(錐体の体積) = $\frac{1}{3} \times$ (底面積) \times (高さ), (錐体の表面積) = (側面積) + (底面積)

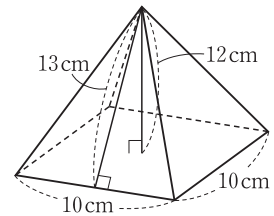
右の図の正四角錐の体積と表面積を求めよ。

解 底面積は、 $10^2 = 100 \text{ (cm}^2\text{)}$ より、

体積は、 $\frac{1}{3} \times 100 \times 12 = 400 \text{ (cm}^3\text{)}$

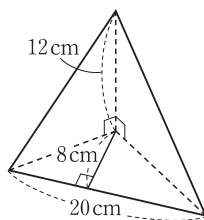
側面積は、 $\left(\frac{1}{2} \times 10 \times 13\right) \times 4 = 260 \text{ (cm}^2\text{)}$ より、

表面積は、 $260 + 100 = 360 \text{ (cm}^2\text{)}$

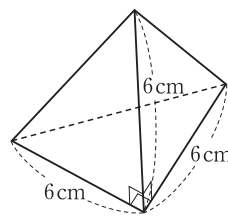


160 次の角錐の体積を求めよ。また、(3)については表面積も求めよ。

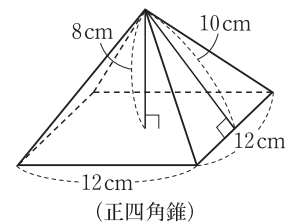
□(1)



□(2)



□(3)



42 円錐の体積・表面積

右の図の円錐について、次のものを求めよ。

- (1) 体積 (2) 表面積

解 (1) 底面積は、 $\pi \times 3^2 = 9\pi(\text{cm}^2)$ より、

$$\text{体積は、} \frac{1}{3} \times 9\pi \times 4 = 12\pi(\text{cm}^3)$$

(2) 側面となるおうぎ形の中心角を a° とすると、

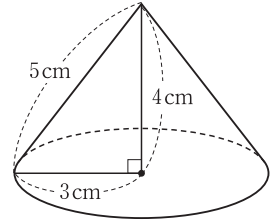
$$2\pi \times 5 \times \frac{a}{360} = 2\pi \times 3, \quad a = 216$$

$$\text{側面積は、} \pi \times 5^2 \times \frac{216}{360} = 15\pi(\text{cm}^2) \text{ より、}$$

$$\text{表面積は、} 15\pi + 9\pi = 24\pi(\text{cm}^2)$$

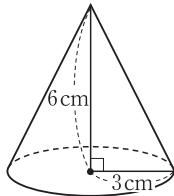
[別解] (おうぎ形の面積) $= \frac{1}{2} \times (\text{弧の長さ}) \times (\text{半径})$ より、

$$\text{側面積は、} \frac{1}{2} \times (2\pi \times 3) \times 5 = 15\pi(\text{cm}^2)$$

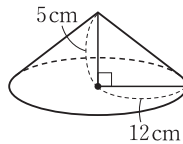


161 次の円錐の体積を求めよ。

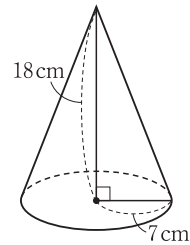
■(1)



□(2)

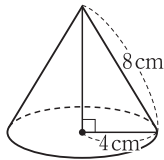


■(3)

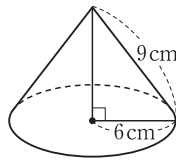


162 次の円錐の表面積を求めよ。

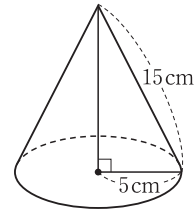
□(1)



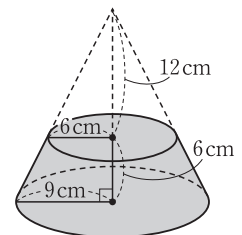
■(2)



■(3)

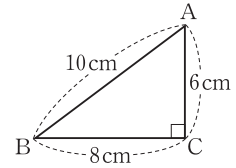


163 右の図の影の部分の立体は、円錐を、その底面に平行な平面□で切り、頂点のある方の立体を取り除いた立体である。この立体の体積を求めよ。



43 回転体の体積・表面積

右の図の直角三角形 ABC を、次のように 1 回転させてできる立体の体積と表面積を求めよ。



- (1) 辺 AC を軸として 1 回転させる
 (2) 辺 BC を軸として 1 回転させる

解 (1) できる立体は、底面の半径が 8 cm、高さが 6 cm、母線の長さが 10 cm の円錐である。

体積は、 $\frac{1}{3} \times \pi \times 8^2 \times 6 = 128\pi \text{ (cm}^3\text{)}$

表面積は、 $\frac{1}{2} \times (2\pi \times 8) \times 10 + \pi \times 8^2 = 144\pi \text{ (cm}^2\text{)}$

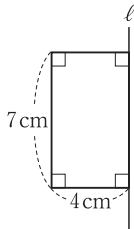
(2) できる立体は、底面の半径が 6 cm、高さが 8 cm、母線の長さが 10 cm の円錐である。

体積は、 $\frac{1}{3} \times \pi \times 6^2 \times 8 = 96\pi \text{ (cm}^3\text{)}$

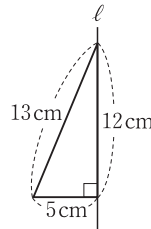
表面積は、 $\frac{1}{2} \times (2\pi \times 6) \times 10 + \pi \times 6^2 = 96\pi \text{ (cm}^2\text{)}$

164 次の平面図形を、直線 l を軸として 1 回転させてできる立体の体積と表面積を求めよ。

□(1)

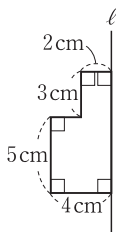


■(2)

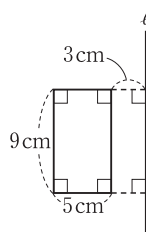


165 次の平面図形を、直線 l を軸として 1 回転させてできる立体の体積と表面積を求めよ。

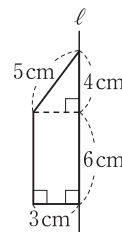
□(1)



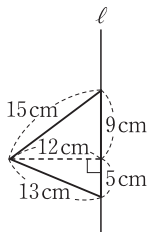
■(2)



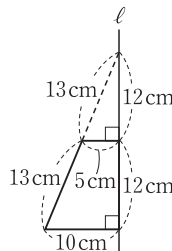
□(3)



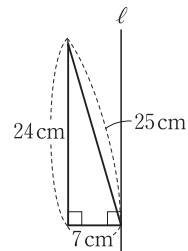
■(4)



■(5)



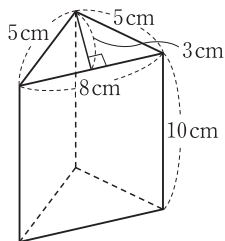
□(6)



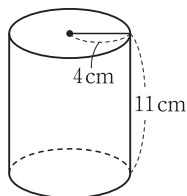
節 末 問 題

166 次の図の立体の体積と表面積を求めよ。

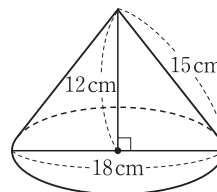
□(1)



□(2)

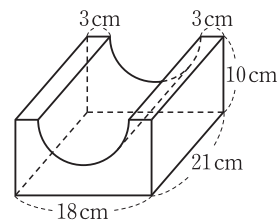


□(3)



167 右の図は、直方体から円柱の半分を切り取った立体である。この

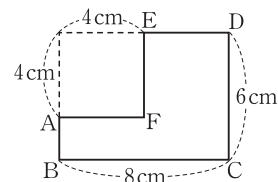
□立体の体積と表面積を求めよ。



168 右の図は、縦 6 cm、横 8 cm の長方形から、1 辺 4 cm の正方形を取り除いたものである。

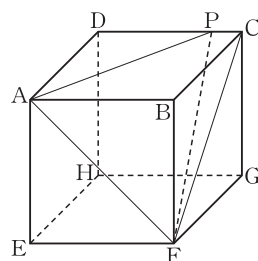
□(1) 直線 DC を軸として 1 回転させてできる立体の体積と表面積を求めよ。

□(2) 直線 ED を軸として 1 回転させてできる立体の体積と表面積を求めよ。



169 右の図は、1 辺が 6 cm の立方体で、点 P は辺 DC 上の点である。

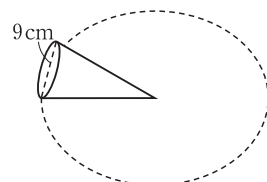
□四角錐 F-PABC の体積が立方体の体積の $\frac{2}{9}$ であるとき、線分 PC の長さを求めよ。



170 右の図のように、底面の直径が 9 cm の円錐を、平面上をすべらないように転がしたところ、円錐が 4 回転したところでもとの位置にもどってきた。

□(1) 点線の円の周の長さを求めよ。

□(2) 転がした円錐の表面積を求めよ。





9 空間図形の計量②



44 切断と体積

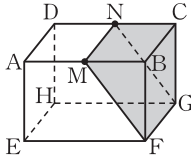
右の図は、 $AB=6\text{ cm}$ 、 $AD=3\text{ cm}$ 、 $AE=4\text{ cm}$ の直方体である。また、点 M 、 N はそれぞれ辺 AB 、 DC の中点である。この直方体を次の平面で切るとき、小さい方の立体の体積を求めよ。

- (1) 点 M を通り、辺 FG をふくむ平面
 (2) 3点 M 、 D 、 E を通る平面

解 (1) 三角柱 $MBF-NCG$

となる。 $\triangle MBF$ を底面とみると高さは CB だから、体積は、

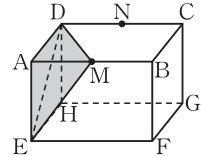
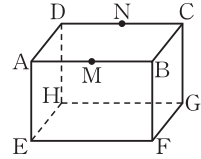
$$\left(\frac{1}{2} \times 3 \times 4\right) \times 3 = 18 \text{ (cm}^3\text{)}$$



(2) 三角錐 $AMDE$ と

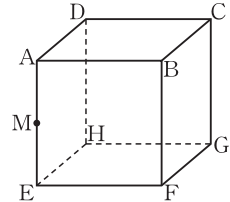
なる。 $\triangle DAE$ を底面とみると高さは MA だから、体積は、

$$\frac{1}{3} \times \left(\frac{1}{2} \times 3 \times 4\right) \times 3 = 6 \text{ (cm}^3\text{)}$$

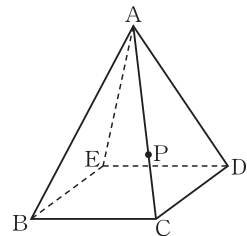


171 右の図は 1 辺が 6 cm の立方体で、点 M は辺 AE の中点である。この立方体を次の平面で切るとき、頂点 A をふくむ方の立体の体積を求めよ。

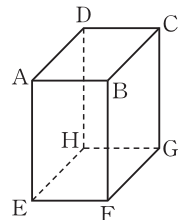
- (1) 3点 M 、 B 、 D を通る平面
 ■(2) 3点 M 、 B 、 C を通る平面
 □(3) 3点 M 、 F 、 G を通る平面



172 右の図の正四角錐 $A-BCDE$ は、底面の 1 辺が 6 cm で、高さが 9 cm である。また、点 P は辺 AC 上にあり、底面からの高さが 3 cm の点である。この正四角錐を 3点 P 、 B 、 D を通る平面で切るとき、点 A をふくむ方の立体の体積を求めよ。

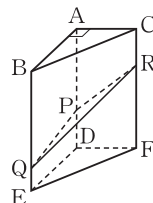


173 右の図は、 $AB=5\text{ cm}$ 、 $AD=6\text{ cm}$ 、 $AE=8\text{ cm}$ の直方体である。この直方体から、4 つの三角錐 $BACF$ 、 $DACH$ 、 $EAFH$ 、 $GCFH$ を切り取ってできる立体の体積を求めよ。



45 複雑な立体

右の図は、 $\angle BAC=90^\circ$ 、 $AB=6\text{ cm}$ 、 $AC=5\text{ cm}$ 、 $AD=10\text{ cm}$ の三角柱である。点P、Q、Rはそれぞれ辺AD、BE、CF上の点で、 $AP=7\text{ cm}$ 、 $BQ=8\text{ cm}$ 、 $CR=3\text{ cm}$ である。この三角柱を、3点P、Q、Rを通る平面で切るとき、点Aをふくむ方の立体の体積を求めよ。

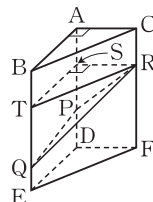


解 点Rを通り、面ABCに平行な平面と、辺AD、BEの交点をそれぞれS、Tとすると、三角柱ABC-STRと四角錐R-STQPに分けられるから、

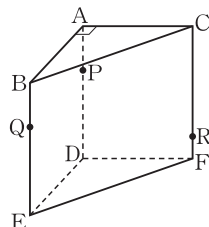
$$\text{体積は、} \left(\frac{1}{2} \times 6 \times 5\right) \times 3 + \frac{1}{3} \times \left\{ \frac{1}{2} \times (4+5) \times 6 \right\} \times 5 = 90 \text{ (cm}^3\text{)}$$

【別解】 三角錐ABCRと四角錐R-ABQPに分けられるから、

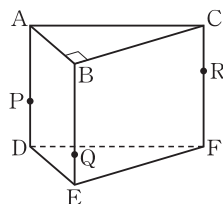
$$\text{体積は、} \frac{1}{3} \times \left(\frac{1}{2} \times 6 \times 5\right) \times 3 + \frac{1}{3} \times \left\{ \frac{1}{2} \times (7+8) \times 6 \right\} \times 5 = 90 \text{ (cm}^3\text{)}$$



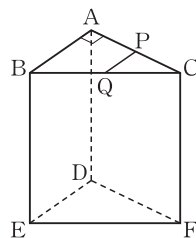
174 右の図は、 $\angle BAC=90^\circ$ 、 $AB=4\text{ cm}$ 、 $AC=5\text{ cm}$ 、 $AD=6\text{ cm}$ の三角柱である。点P、Q、Rはそれぞれ辺AD、BE、CF上の点で、 $AP=BQ=2\text{ cm}$ 、 $RF=1\text{ cm}$ である。この三角柱を、3点P、Q、Rを通る平面で切るとき、点Aをふくむ方の立体の体積を求めよ。



175 右の図は、 $\angle ABC=90^\circ$ 、 $AB=5\text{ cm}$ 、 $BC=9\text{ cm}$ 、 $AD=8\text{ cm}$ の三角柱である。点P、Q、Rはそれぞれ辺AD、BE、CF上の点で、 $PD=CR=3\text{ cm}$ 、 $QE=2\text{ cm}$ である。この三角柱を、3点P、Q、Rを通る平面で切るとき、点Eをふくむ方の立体の体積を求めよ。



176 右の図は、 $\angle BAC=90^\circ$ 、 $AB=6\text{ cm}$ 、 $AC=8\text{ cm}$ 、 $AD=10\text{ cm}$ の三角柱である。点P、Qはそれぞれ辺AC、BCの中点で、 $PQ \perp AC$ 、 $PQ=3\text{ cm}$ である。この三角柱を、点Dを通り、線分PQをふくむ平面で切るとき、点Aをふくむ方の立体の体積を求めよ。

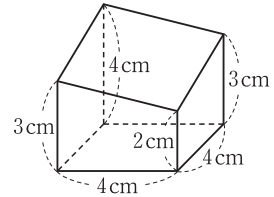
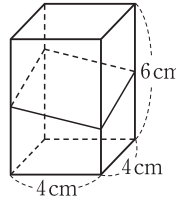


46 立体のはり付け

右の図は、正四角柱を1つの平面で切ったときにできた立体の一方である。この立体の体積を求めよ。

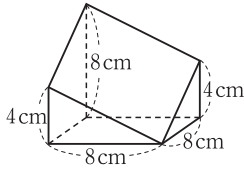
解 右の図のように、この立体を2つ重ねると、正四角柱ができる。求める体積は、この正四角柱の体積の半分だから、

$$(4^2 \times 6) \times \frac{1}{2} = 48 \text{ (cm}^3\text{)}$$

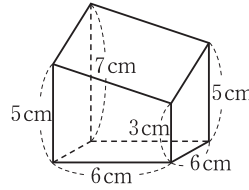


177 次の図は、正四角柱を1つの平面で切ったときにできた立体の一方である。体積を求めよ。

□(1)

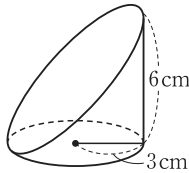


□(2)

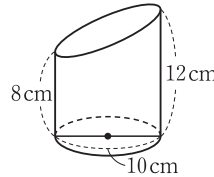


178 次の図は、円柱を1つの平面で切ったときにできた立体の一方である。体積を求めよ。

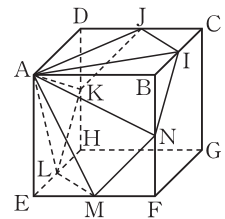
□(1)



□(2)

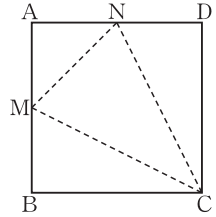


応 179 右の図は1辺2 cmの立方体で、点I, J, K, L, M, Nはそれぞれ辺□BC, CD, DH, HE, EF, FBの中点である。これらの点と点Aを結んでできる六角錐A-IJKLMNの体積を求めよ。



47 展開図から考える問題

右の図のように、1辺4 cmの正方形があり、点M、Nはそれぞれ辺AB、ADの中点である。いま、線分MN、MC、CNを折り目として同じ側に折り曲げ、3点A、B、Dを1点で重ねて立体を作る。



- (1) $\triangle MCN$ の面積を求めよ。
- (2) 立体の体積を求めよ。
- (3) $\triangle MCN$ を底面とするとき、立体の高さを求めよ。

解 (1) 正方形の面積から、3つの直角三角形の面積の和をひいて求める。

$$4^2 - \left\{ \frac{1}{2} \times 2 \times 2 + \left(\frac{1}{2} \times 4 \times 2 \right) \times 2 \right\} = 6 \text{ (cm}^2\text{)}$$

- (2) できる立体は三角錐である。 $\triangle AMN$ を底面とするときの高さは4 cmだから、

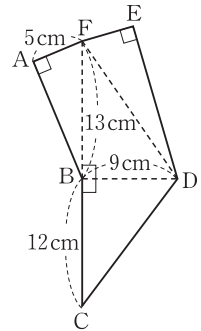
$$\frac{1}{3} \times \left(\frac{1}{2} \times 2 \times 2 \right) \times 4 = \frac{8}{3} \text{ (cm}^3\text{)}$$

- (3) 求める高さを h cm とすると、

$$\frac{1}{3} \times 6 \times h = \frac{8}{3}, \quad h = \frac{4}{3} \quad \text{よって、} \frac{4}{3} \text{ cm}$$

180 右の展開図を組み立ててできる立体について、次の問いに答えよ。

- (1) 立体の体積を求めよ。
- (2) $\triangle BDF$ を底面とするとき、立体の高さを求めよ。



181 右の図1の $\triangle ABC$ を、直線ACを軸として1回転させて立体を作る。図2はこの立体の展開図である。

- (1) この立体の体積を求めよ。
- (2) 図2で、 a の値を求めよ。
- (3) この立体の表面積を求めよ。

図1

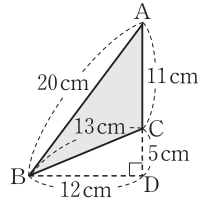
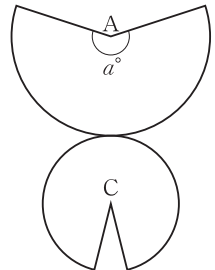


図2



48 球の体積・表面積

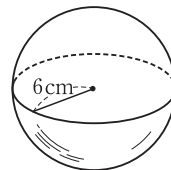
半径 r の球の体積を V 、表面積を S とすると、

$$V = \frac{4}{3}\pi r^3, \quad S = 4\pi r^2$$

半径 6 cm の球の体積と表面積を求めよ。

解 体積は、 $\frac{4}{3}\pi \times 6^3 = 288\pi \text{ (cm}^3\text{)}$

表面積は、 $4\pi \times 6^2 = 144\pi \text{ (cm}^2\text{)}$



182 次の球の体積と表面積を求めよ。

□(1) 半径が 3 cm の球

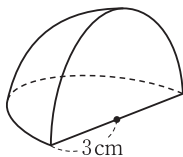
□(2) 半径が 5 cm の球

□(3) 半径が $\frac{3}{4}$ cm の球

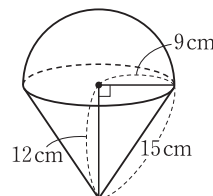
□(4) 直径が 9 cm の球

183 次の立体の体積と表面積を求めよ。

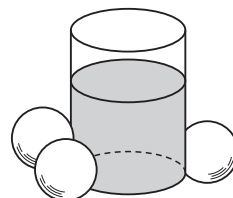
□(1) 右の図のように、半径 3 cm の球を中心を通って垂直に交わる 2 つの平面で切ってきた立体。



□(2) 右の図のように、半球と円錐を組み合わせた立体。



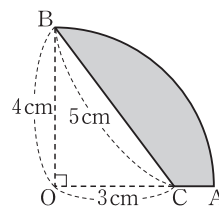
184 底面の半径が 8 cm の円柱形の容器に、水が 15 cm の深さまで入っている。この中に、半径 4 cm の鉄の球を 3 個入れたら、全部水の中に入った。このとき、水の深さは何 cm になったか。



185 右の図のように、半径 4 cm、中心角 90° のおうぎ形 OAB から、3 辺の長さが 3 cm、4 cm、5 cm の直角三角形 OBC を切り取った。この図形について、次の問いに答えよ。

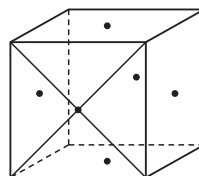
□(1) この図形を OB を軸として 1 回転してできる立体の体積と表面積を求めよ。

□(2) この図形を OA を軸として 1 回転してできる立体の体積と表面積を求めよ。



節 末 問 題

186 右の図のように、1辺6 cmの立方体の各面に、対角線の交点をとる。これらの点を結んでできる立体の体積を求めよ。

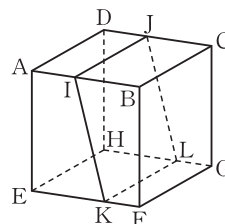


187 右の図は、1辺3 cmの立方体 ABCD-EFGH において、4つの辺 AB, DC, EF, HG 上にそれぞれ点 I, J, K, L をとったものである。

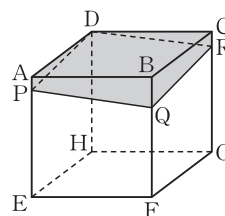
$AI = \frac{4}{3}$ cm, $EK = 2$ cm で、AD, IJ, KL がすべて平行であるとき、次の

問いに答えよ。

- (1) 点 A, E, K, I, D, H, L, J を頂点とする立体の体積を求めよ。
 □(2) (1)の立体において、辺 AD, IJ の中点をそれぞれ M, N とする。この立体から、点 D, M, N, J, H, L を頂点とする立体を取り除いてできる立体の体積を求めよ。

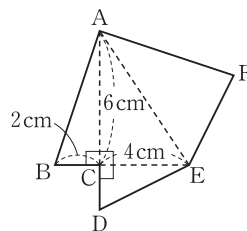


188 右の図は、1辺10 cmの立方体で、点 P, Q, R はそれぞれ辺 AE, BF, CG 上にあり、 $AP = CR$, $BQ = 2AP$ である。立方体の影をつけた部分の体積が、つけない部分の体積の $\frac{1}{7}$ であるとき、線分 BQ の長さを求めよ。



189 右の図は、ある立体の展開図である。この立体において、 $\triangle AEF$ を底面としたときの高さは、 $\frac{12}{7}$ cm である。

- (1) 立体の体積を求めよ。
 □(2) 立体の表面積を求めよ。



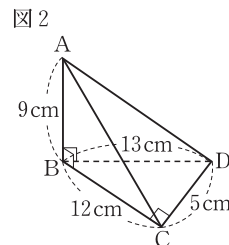
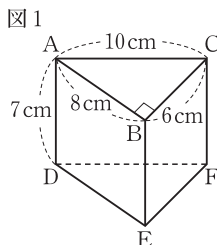
190 半径30 cmのなまりで作った球がある。この球を溶かして、半径6 cmの球に作り変える。

- (1) 半径6 cmの球は何個できるか。
 □(2) 半径6 cmの球の表面積の合計は、もとの球の表面積の何倍になるか。

2章のチャレンジ問題

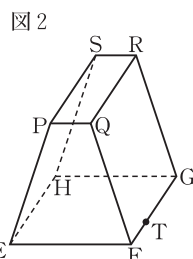
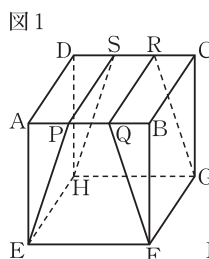
191 次の問いに答えよ。

- (1) 右の図1の三角柱を、辺ADを軸として1回転するとき、面BEFCが通過する部分の体積を求めよ。
- (2) 右の図2の三角錐を、辺ABを軸として1回転するとき、面ACDが通過する部分の体積を求めよ。



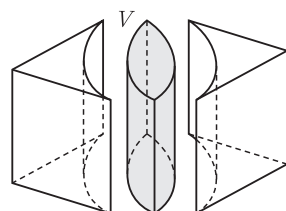
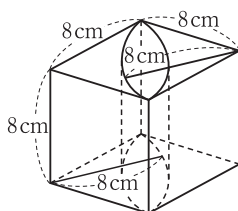
192 右の図1は、1辺6 cmの立方体で、点P, Qは辺ABを3等分する点、点R, Sは辺CDを3等分する点である。この立方体を2平面PEHS, QFGRで切ることができる立体(図2)について、次の問いに答えよ。

- (1) この立体の体積を求めよ。
- (2) 辺FG上に点Tをとり、この立体を3点R, S, Tを通る平面で切る。点Gをふくむ方の立体の体積が 70 cm^3 になるとき、線分GTの長さを求めよ。



193 1辺8 cmの立方体を、右の図のように切り離して、立体Vを作った。

- (1) 立体Vの体積を求めよ。
- (2) 立体Vの表面積を求めよ。



194 右の図1は、1辺9 cmの立方体である。この立方体のそれぞれの面について、9個の合同な正方形に分けられるように4本の線分をひく。このとき、4本の線分によって4個の交点ができ、全体では24個の交点ができる。この24個の点を頂点とする立体を作ると、図2のようになる。この立体について、次の問いに答えよ。

- (1) 面の数は何個か。
- (2) 辺の数は何本か。
- (3) 辺ABとねじれの位置にある辺の数は何本か。
- (4) 体積を求めよ。

